

# あかしSDGsパートナーズ取組計画書

明石市長 様

あかしSDGsパートナーズの取組計画を以下のとおり提出します。

(記入日)2022年5月9日

団体名	株式会社サキノ精機			TEL	078-946-2255				
代表者名	崎野 雄生			メールアドレス	yuki@sakino.co.jp				
目指すゴール 【複数選択可】 ※ゴール下の枠を チェックしてください									
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
									
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2030年までに達成したいこと	2030年までに、ゴミの排出ゼロを目指した環境に良い海苔漁業の実現と、高齢化する海苔漁師の職場環境改善を目指し、明石市の自慢でもある「海苔」がより未来へ輝ける持続可能な事業にします。								
重点的な取組 (※)	【取組①】						目標値 / 達成年		
	<p>●取組の趣旨・目的</p> <p>現在、海苔漁では沖の作業で FRP※素材のハコブネが使われています。壊れると修理や廃棄されています。FRP 素材の廃棄は国内でも大きな問題となっており、弊社が開発したアルミ素材のハコブネは廃材の排出を無くします。FRP 素材のハコブネは1台 100kg 程度あり、明石市内には約400隻のハコブネがあります。</p> <p>FRP 素材のハコブネは水の吸収や修理により、年々重量が増えます。重くなれば作業性も悪化します。そこで、高齢化する漁師の作業効率向上を目指した、アルミ製のハコブネにより海苔漁業を守ります。</p> <p>※FRP＝繊維強化プラスチック</p> <p>●具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FRP よりも強固なアルミ材を使うことで、壊れないハコブネを作る。</li> <li>・アルミ材はリサイクル可能でゴミにならない。</li> <li>・水を吸わないアルミが高齢化する漁師の作業負担の軽減。</li> </ul>						アルミ素材のハコブネ 使用率100%達成 /2030年		
							該当するゴール		
						   			
  									